

R2 年度 特定非営利活動法人晃智会 事業報告書

令和 3 年 5 月 21 日

1. 事業の経緯
2. 職員の状況
3. 利用者の状況
4. 経営状況

1. 事業の経緯

R2 年度は新型コロナウイルスの影響拡大により当初予算が立てにくい一年でした。当初から低めの予算ではありましたが年間では当初予算を上回る事業収益を得ることができました。コロナ禍における事業所内での勉強会その他での職員への危機意識周知と利用者やご家族の不安を減らすための働きかけで想定よりも利用者減少を食い止めること出来たものと思われまます。

当法人の事業の主体である生活介護事業は昨年度中に土曜開所を始め月間営業日数が増えたこと、コロナ禍での利用者数減少で一日平均利用率 60%に留まりました。

日中一時支援事業の利用者数は増加傾向ですが放課後デイサービス開所の目安と考えている一日平均 3 人以上には達していません。令和 3 年度報酬改定において放課後デイサービス人員基準に変更があったことから地域需要として日中一時支援事業は継続していきますが放課後デイサービスへの事業転換に至るには主体である生活介護事業の拡大が必要な状況です。

人事についてはコロナ禍で他事業所が規模縮小、人員削減を進める中において新たな事業所設立に向けた人員投資として常勤、非常勤職員の採用を増やしました。現状の施設運営では 2 倍程度の余剰人員となっているため、営業時間の延長など人員の有効活用手段を講じていく必要がありそうです。

融資については返済負担軽減のためコロナ関連融資を利用したの借り換えを実施しております。

設備投資について R2 年度は大きな投資を進めておりません。2 店舗目開設に向けての場所、施設探し継続中ですが、開設に踏み切れるかは新型コロナによる社会情勢や利用者数推移によるところが大きいです。

2. 職員の状況

					R3年3月31日現在	
	管理者*	サビ管*	生活支援員	看護師	P T ・ O T	医師
職員数	1	1	16(11)	4(2)	1**	1**
	*兼務		()うち非常勤		**嘱託職員	

R3 年 4 月より看護師 1 名(非常勤),生活支援員 1 名(非常勤)採用

3. 利用者の状況

月別・障害区分別利用者の推移（延べ数）

	生活介護事業：平均障害区分5.0									日中一時事業		
	開所日数	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	一日平均	重度比率*	千葉	市原	袖ヶ浦
4月	26	5	42	11	43	135	236	9.1	75.4	3	3	
5月	26	4	39	9	46	109	207	8.0	74.9	3	3	
6月	26	4	49	12	52	172	289	11.1	77.5	4	4	
7月	27	5	55	51	57	187	355	13.1	68.7	2	4	
8月	26	4	52	68	49	174	347	13.3	64.3	3	4	
9月	26	6	55	51	57	187	356	13.7	68.5	3	5	
10月	27	5	55	52	64	192	368	13.6	69.6	4	6	1
11月	25	4	49	54	56	187	350	14.0	69.4	4	6	1
12月	26	3	47	49	62	192	353	13.6	72.0	4	6	
1月	24	3	47	45	48	125	268	11.2	64.6	4	5	
2月	24	4	54	48	45	138	289	12.0	63.3	3	5	
3月	27	4	70	54	47	157	332	12.3	61.4	3	5	
計	310	51	614	504	626	1955	3750	12.1	69.1	40	56	2

*区分5区分6の割合

4. 経営状況

別紙：損益計算書、貸借対照表参照